

新しい働き方を提案！

二足のわらじ展

10月8日から11日まで、壽丸屋敷で「二足のわらじ展」が開催されました。複数の仕事を掛け持つ「複業」をテーマにしたこの作品展は、温麺製造会社の営業職と弥治郎系こけし工人で活動する木村敦さんと、地域おこし協力隊と陶芸家で活動する竹田祐博さんが共同で開催。会場では、新しい働き方を実践する2人が携わる、白石温麺と弥治郎こけし、白石産ササニシキと陶芸作品などが展示・販売されました。

10日には2人のトークイベントも行われ、高校生や一般の方など約40人が来場。複業を選んだきっかけや経緯、仕事の考え方や複業のメリットなどを、和やかな雰囲気でも話しました。木村さんは「仕事の選択肢を幅広く考えて、ぜひ好きなことにチャレンジしてほしいです」、竹田さんは「今後もこういった機会を設けて、新しいものを生み出すきっかけになれば」と話していました。



1_制作した作品の数々 2_軽快なトークで盛り上げる竹田さん(右)と木村さん(左) 3_竹田さんと木村さんが互いにデザインし合ったオリジナル作品

響き渡る迫力の銃声！

白石城で火縄銃演武

10月3日、白石城本丸広場で火縄銃演武が行われました。

この日は、第13回鬼小十郎まつりの開催予定日でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、出演予定の「片倉鉄砲隊」が来年以降の鬼小十郎まつりの開催と新型コロナウイルス感染症の終息を祈願し、演武を行いました。

当日は、「白石居合道会」による居合の演武も行われ、居合わせた観光客からは大きな拍手が送られました。



▲当日は7人の片倉鉄砲隊が演武を披露しました

地域の伝統を継承

大鷹沢「八枚田」で稲刈り

9月30日、歌舞伎や浄瑠璃の演目で有名な仇討ち話「白石噺」伝承の地である、大鷹沢地区「八枚田」でもち米の稲刈りが行われました。天候に恵まれたこの日は、大鷹沢小学校の児童2・3年生8人と地元の方々が集まり、鎌を使いながら稲を刈り取っていきました。収穫されたもち米はおもちにして、児童や地元の方々に振る舞われる予定です。

八枚田の稲刈りや維持管理は、白石陽光園の皆さんに御協力をいただいています。



▲鎌を手に稲刈りする児童

シールで簡単！ こけしを彩る

白石市第一幼稚園「ぺたこけしづくり」

10月16日、白石市第一幼稚園の親子行事で「ぺたこけしづくり」が行われました。「ぺたこけし」は、こけしの木地に顔や模様をシールを切り貼りして作るこけしで、筆や絵の具を使わず、気軽にこけしづくりを楽しむことができるもの。園児に地元の伝統工芸を体験してもらおうと、同園で初めて企画されました。

園児は保護者といろいろな表情や模様のシールを貼り付けながら、思い思いのこけしづくりを楽しんでいました。



▲新山実工人(右)の協力を得て、こけしづくりを楽しみました

オンライン販売の事例から学ぶ

「みやぎ蔵王」ブランド推進セミナー

9月25日、オンライン販売のノウハウを学ぶ事業者向けセミナー(大河原地方振興事務所主催)が大河原合同庁舎で開催され、先進的に取り組む3社の事例発表と情報交換会が行われました。本市から山田乳業株式会社、株式会社きちみ製麺の2社が事例を発表しました。

山田乳業株式会社は、「フロム蔵王」ブランドの沿革を中心に、特にネット上での評価やレビューを注視し、日々商品の開発・改良に取り組む姿勢、ネット販売の効果や重要性について話していました。

株式会社きちみ製麺は、地場産品である白石温麺の販売について、情報の拡散力があるSNSの活用方法や、話題性が高いキャラクターとのコラボ商品の開発などを話していました。

講演後の情報交換会では、事例発表者がアドバイザーとなり、参加者の取り組みや悩みなどについて意見を交わしました。



1_事例発表に耳を傾ける参加者 2_情報交換会の様子